

平成26年度 宮崎県特別支援教育研究連合 知的障がい教育研究会  
－第3回理事会－

日時 平成27年2月10日(火)  
13:00～16:00  
会場 県立みなみのかぜ支援学校

1 開会行事

(1) 会長あいさつ

今年度は全国大会等があった。この会は九特連とも関わっている会である。来年度の大会に向けて頑張ってもらいたい。

(2) 日程説明

(3) 資料確認

2 第3回理事会

(1) 平成26年度知的部会事業報告(P1～2)

- 別紙の通り

(2) 平成26年度知的部会収支報告(P3)

- 訂正

支出の部・研究会及び研究大会費・県特研連知的部会研究大会運営費

14,979 → 14,906

(3) 平成27年度知的部会事業計画案(P4～5)

- 別紙の通り

(4) 平成27年度知的部会予算案(P6)

- 別紙の通り

(5) 平成27年度理事選出について(P7～)

- 理事選出についての書類を封筒で渡している。確実に次の方へ封筒を渡し、引き継いで欲しい。締め切りは5月11日(月)までをお願いしたい。宛名を書いていない封筒は地区の会長に渡して欲しい。

3 第3回知的部会研究大会実行委員会

知的部会企画運営担当校：児湯るびなす支援学校 より提案

平成27年度知的部会研究大会について(別紙資料)

(1) 「第8回 知的部会 研究大会」のテーマ

「子ども一人一人の教育的ニーズに対応した適切な教育や必要な支援の更なる充実を図るために」  
～子どもたちが自分の気持ちを上手に表現できるように～

- 日頃、先生方が子どもたちと向き合う中で知的障がいのある子どもが、自分の気持ちを上手に表現することが難しく、行動上の問題として理解されることがある。そこで感覚統合法やソーシャルスキルトレーニングを中心に基本に戻り、適切な教育や必要な支援を

(講座1) アセスメント→(講座2) 支援方法の組み立て→(講座3) 支援方法の実際について  
という内容で実施したいと考える。詳細は別紙。

## (2) テーマ設定の理由

これまでのテーマ

「特別教育における専門的指導力の向上を目指して」

### 第8回 研究大会のテーマ

「子ども一人一人の教育的ニーズに対応した適切な教育や必要な支援の更なる充実を図るために」

○ この2つのテーマをどう擦り合わせるか？

【みなみのかぜ】毎回テーマを変えるのは大変である。これまでのテーマはそのままの方がよいのでは？

【吉村副会長】「特別教育における専門的指導力の向上を目指して」はこの知的部会の継続テーマとし、第8回のテーマを「子ども一人一人の教育的ニーズに対応した適切な教育や必要な支援の更なる充実を図るために」としては？

【司会】吉村副会長の案で事務局の方の大会実行委員とで整理させていただく。

【みやざき中央支援学校】大会の目的に立ち返った時、目的の中に「小学校・中学校の実践や研究の成果を共有」とあるが、第8回の研究大会ではどう扱うのか？

【小・中特研事務局】1から7まではそのまま8回大会の内容は「8の内容」に入れてはどうか？  
また、小学校・中学校の実践や研究の成果については講座1及び講座2の中に成果に基づく内容が含まれると思われる。

【西都地区理事】発表の内容は支援学校や支援学級担当のためのように思われるが、実際は普通学級の職員も必要としている研修内容である。全ての学校に案内してほしい。

【小・中特研事務局】研究大会テーマから日程までの項目（1～7）については、これまで積み上げてきているものである。よって、そのままよいのではないか。

【司会】ご意見を参考に文言は精選していくが、方向性としてはこれでよいか？

→ **承認**

【きりしま支援学校】来年度の大会の作品展の持ち寄りのご協力を願いたい。今後、担当の方が負担にならないよう、この会で支え合ってほしい。

## 4 その他

○ 大会案内について

【事務局長】1次案内については今年度中に配布したい。今後、2月24日（火）の小・中特研で出していきたいので協力を願いたい。2次案内については次年度配布予定。

○ 九州地区特別支援教育研究連盟研究大会について

【小・中特研事務局】

第4分科会の提案者 木花中学校教諭

## 5 閉会行事

### (1) 副会長あいさつ

【吉村副会長】今年度、研究大会担当のローテーション等が新たに動き出した。色々な面で小中の先生方との情報交換等の交流が行われるとよい。

【中村副会長】次年度の県大会を支援学級設置校だけでなく全ての小・中学校に配布する、ということで県内全ての先生方に知っていただき研修の機会としてほしい。